☆　模擬練習問題　☆

※　30分で解くと、当日の時間配分になります。

【人体】問１　高齢者の疾患の特徴に関する次の記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。

１　高齢者では、多臓器にわたって発生する重複がんが増加する。

２　高齢者の血圧は、収縮期血圧と拡張期血圧ともに上昇する。

３　高齢者の気管支喘息では、感染型よりアレルギー型が多い。

４　老人性（加齢性）白内障では、視野狭窄や眼痛を生じる。

５　高齢者の胃では過酸症となるため、逆流性食道炎をおこしやすい。

【心理】問2　心理療法に関する次の記述のうち、最も適切なものを1つ選びなさい。

１　遊戯療法は、言葉で表現できない深い感情や複雑な問題状況を表現できる特性があり、遊びそれ自体を自分自身のありのままの表現ととらえる。

２　心理教育は、過去の対人関係における自己の態度や行動を経時的、多面的、客観的に調べることによって真実の自己を発見するための技法である。

３　認知行動療法では、自分のからだに感じられる感覚に注意を向け、そこから未形成の意味を表出していく過程が重視される。

４　心理劇は、物事についての認知のあり方をクライエントとともに検討することを通じて、非適応的な行動の修正や問題解決を行う。

５　芸術療法は、言語心理面接において一定の手続きを用いてクライエントをイメージ過程に導き、その芸術体験を治療的に利用する方法である。

【社会】問３　個々人の合理的な選択と社会全体にとっての関係を問う社会的ジレンマの考え方に関する次の記述のうち、適切なものを1つ選びなさい。

１　時間を使うことを嫌がって、公園建設を行政に働きかける市民運動に参加しなかったため、その公園の利用制限をかけられた人たちのことを「フリーライダー」という。

２　矢を3本まとめると1本のときより折れにくくなるが、そのような相互作用に着目し、個々の特性の組み合わせから論理的に導き出される新たな効果を「創発特性」という。

３　ごみの不法投棄に罰金を科すなど、協力行動には報酬を、非協力行動には制裁を与え、非協力行動が価値観として不適切だと罪悪感を教え込む方法を「選択的誘因」という。

４　共有の牧草地で各自が牛を育てていたが、増益を意図し牛を増やした者がいて、牧草地が枯れて牛の生育が悪くなり、人々の利益総体が減少することを「共有地の悲劇」という。

５　犯罪容疑者である共犯者が、逮捕されていない主犯者の利益を考えて黙秘する結果、共犯者が自分の家族と引き裂かれて自己利益を守れなくなることを「囚人のジレンマ」という。

【現社】問４　福祉制度の分類に用いられる社会保障制度審議会による社会保障の枠組みに関する次の記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。

１　社会保障とは５つの巨悪、すなわち窮乏、疾病、無知、不潔、怠惰への対応としての所得保障、保険、教育、住宅及び雇用制度の総称である。

２　社会保障は広義と狭義に分けられ、狭義の社会保障は公的扶助、社会福祉、公衆衛生及び医療の４つから構成される。

３　広義の社会保障とは、狭義の社会保障に社会保険、住宅対策及び雇用対策を加えたものである。

４　恩給及び戦争犠牲者援護は社会保障本来の目的とは異なる国家補償制度であるが、生存権尊重の社会保障的効果を上げているために広義の社会保障制度とされている。

５　狭義の社会保障、広義の社会保障及び関連制度の総体を表すものとして「福祉制度」の名称が与えられた。

【地域福祉】問５　コミュニティに関する次の記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。

１　マッキーヴァ―は、国家はアソシエーションであり、家族はコミュニティであるとした。

２　べヴァリッジは、５つの巨悪と呼ばれる人々のニーズのうち、窮乏に対してはコミュニティによる対策が有効であるとした。

３　ウェルマンは、コミュニティの定義の多くが社会的相互作用と共通の絆から成り立っているとした。

４　ヒラリーは、都市化はコミュニティを近隣社会から解放し、地域という空間的枠組みを超えたネットワーク形成を促すとした。

５　パットナムは、ソーシャル・キャピタルを、個人間のつながりである社会的ネットワークとそこから生じる互酬性と信頼性と規範が強くかかわっているとした。

【行財政】問６　社会福祉施設における国の費用負担割合に関する次の記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。

１　婦人相談所は、国が4分の３の費用を負担する。

２　生活保護における保護施設は、国がその2分の１の費用を負担する。

３　障害者支援施設は、国がその4分の３の費用を負担する。

４　児童福祉施設は、国がその4分の３を負担する。

５　保育所は、国がその2分の１の費用を負担する。

【社会保障】問７　社会保障に関する次の記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。

１　ドイツでは、18世紀末のプロイセン一般ラント法により生存権が確立した。

２　イギリスでは、19世紀の末に世界で最初に社会保険が制度化された。

３　フランスでは、1930年代の世界的な不況のなかで、ラロック・プランが作成され、社会保障の普遍化の方針を打ち出して、世界各国に大きな影響を与えた。

４　スウェーデンの医療保障制度は、税を財源とし、国が運営する全国一本の制度となっている。

５　アメリカの公的な医療保障制度は、これまで低所得者や高齢者などを対象としていたが、2010年、一般の国民にも医療保険への加入を促進する法律が成立した。

【障害】問８　障害者総合支援法に関する次の記述のうち、正しいものを２つ選びなさい。

１　地域生活支援事業は、地域の実情に応じて、市町村のみが行うことができる。

２　地域活動支援センターは、都道府県の行う地域生活支援事業である。

３　高額生涯福祉サービス等給付費は、都道府県によって支給される。

４　就労継続支援A型、B型は、利用期間が原則2年と定められている。

５　就労支援のうち、2018年9月中の利用実人員が最も多いのは、就労継続支援B型である。

【低所得】問９　被保護者の権利義務に関する次の記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。

１　急迫の場合等において資力があるにもかかわらず保護を受けたときは、受けた保護金品に相当する金額の範囲内において保護の実施機関の定める額を返還しなければならない。

２　保護金品を標準として租税その他の公課を課せられないという権利があるが、過去の税滞納を理由とする保護金品の差し押さえは許されている。

３　勤労に励み支出の節約を図るなど生活の維持向上に努めている場合、保護の実施機関による指導又は指示に従う義務が免除される。

４　収入、支出その他生計の状況について変動があった場合には届出義務が課せられており、これを果たさなかった場合、直ちに保護は変更、停止または廃止される。

５　正当な理由がなければ保護を不利益に変更されないとう権利があるが、地方公共団体における予算の不足はこの正当な理由に当たる。

【保健】問１０　医療法上の医療提供施設に関する次の記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。

１　調剤薬局は、医療法上の医療提供施設には含まれない。

２　病床数が20床未満であっても、病院と名乗ることができる。

３　臨床研修制度成立後は、新たに医療登録された医師が病院の管理者になるためには、臨床研修等を修了しなければならないと定められた。

４　病院の管理者は、医療の安全を確保するための指針を策定する必要があるが、診療所ではその必要はない。

５　診療所は、療養病床を設けることはできない。

【権利擁護】問１１　後見人の責務に関する次の記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。

１　成年後見人は、被後見人の身上に関する事務を遂行する当たっては、被後見人本人の意思を尊重する義務は負わない。

２　成年後見人は、不適切な事務遂行行為によって第三者に損害を与えた場合、被後見人に事理弁識能力があるときには、その第三者に対して損害賠償責任を負わない。

３　未成年後見人は、被後見人に対する事務を遂行するに当たっては、善良な管理者としての注意義務を負う。

４　成年後見人は、財産のない被後見人に対する事務を遂行するに当たっては、善良な管理者としての注意義務は負わない。

５　未成年後見人は被後見人たる児童が同居の親族に該当する場合、未成年後見人が被後見人の財産を横領したとしても刑を免除する親族間の特例が適用される。

【社会調査】問１２　横断調査と縦断調査に関する次の記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。

１　広い地域を対象に行う調査は横断調査ではあるが、狭い地域のなかで若者と老人など多様な人を対象に行う調査は縦断調査である。

２　同じ対象者に、一定の期間にわたって複数回調査を行うパネル調査は、横断調査に含まれる。

３　1回限りの横断調査でも２つの変数の間の相関関係を見出すことはできるが、因果関係を明らかにするにはパネル調査の方が適している。

４　内閣を支持するか否かについて２つの時点で横断調査を繰り返し、内閣支持率に変化がなければ、支持・不支持の態度が変化した人がいなかったことが分かる。

５　パネル調査における「パネルの摩耗（又は脱落）」とは、第1回目の調査において無回答者が生じることをいう。

【基盤】問１３　社会福祉士及び介護福祉士法に定められた社会福祉士の義務に関する次の記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。

１　クライエントが施設を離れて地域で自立生活を営めるよう、その業務を行わなければならない。

２　専門性を維持・向上を目的として、5年に一度の資格更新研修を受けなければならない。

３　クライエントに関する秘密保持の義務は、社会福祉士でなくなった後においては適用されない。

４　その業務を行うに当たり、福祉サービス関係者等との連携を保たなければならない。

５　クライエントに主治の医師があるときは、その指導に従わなければならない。

【理論と方法】問１４　パールマンが提唱した問題解決アプローチに関する次の記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。

１　クライエントが問題をもつことを病理であるととらえて、クライエントへの診断と処遇の過程を重視した。

２　問題解決の過程をクライエントとともに構築していくことを重視し、クライエントがもつ「解決イメージ」に焦点を当て、短期間で解決に導くことを尊重した。

３　クライエントの問題に対して、「この原因がこの結果を生む」という原因と結果の直接的な関係からとらえようとした。

４　クライエントが社会的役割を遂行する上で生じる葛藤の問題を重視し、その役割遂行上の問題解決に取り組む利用者の力を重視した。

５　ソーシャルワーカーの問題解決能力をワーカビリティと名付け、その向上のためのスーパービジョン過程を重視した。

【組織と経営】問１５　人事管理に関する次の記述のうち、適切なものを1つ選びなさい。

１　ドラッカーが提唱した「目標による管理」は、目標の設定と結果に基づく評価とのシステム化により、従業員満足ではなく組織業績向上を目的とした管理手法である。

２　人材を評価する場合の評価基準としては、個々の法人が求める人材像を基準とする。

３　人材を評価する場合、評価者が陥りやすいエラーとして対比誤差があるが、これは職員同士を対比し評価してしまうエラーである。

４　考課者訓練とは、考課する職員が考課される職員に対して行う訓練をいう。

５　360度評価（多面評価制度）は、評価者である上司が職員の能力や業績だけでなく性格、志向、特技などを多面的に評価することである。

【高齢者】問１６　認知症の人の日常生活・社会生活における意思決定支援に関する次の記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。

１　意志決定支援のプロセスとして、意思形成支援、意思表明支援、医師実現支援がある。

２　2018年に厚生労働省によって作成されたガイドラインでは、対象とする「認知症の人」には、認知症と診断された人のみが含まれ、認知機能の低下が疑われ意思決定能力が不十分な人は含まれない。

３　ガイドラインでは、意思決定支援は高度な技術を必要とするため、意志決定支援者は専門職のみで構成されるべきと定めている。

４　ガイドラインによれば、認知症の人は周囲の空気をつかむのが苦手なので、原則として、意思決定支援会議には本人は参加しないように定めている。

５　ガイドラインによれば、意思決定支援会議は独立して開催されるべきであり、地域ケア会議やサービス担当者会議等と兼ねることを禁じている。

【児童】問１７　児童福祉施設に関する次の記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。

１　児童福祉法によって、市町村は児童福祉施設を設置しなければならない。

２　保育所は、第2種社会福祉事業である。

３　児童家庭支援センターは、第1種社会福祉事業である。

４　認可保育所の設置主体は、社会福祉法人又は公的法人に限られている。

５　児童自立生活援助事業（自立援助ホーム）は、市町村が事業を実施する第2種社会福祉事業である。

【就労支援】問１８　労働施策総合推進法に関する次の記述のうち正しいものを1つ選びなさい。

１　国は、外国人の不法就労活動を防止し、労働力の不適切な供給が行われないようにし、労働市場を通じた需給調整の機能が適切に発揮されるよう努めなければならない。

２　2019年の改正により、ハラスメント対策が強化されたが、中小事業主においては、2030年まで経過措置として努力義務となっている。

３　職場におけるパワーハラスメントの代表的な言動の類型は、①身体的な攻撃、②精神的な攻撃、③人間関係からの切り離し、④過大な要求、⑤過少な要求のみである。

４　労働施策総合推進法は、1947年に施行された「労働基準法」が「働き方改革関連法」により、改正・改称されたものである。

５　労働施策総合推進法には女性の職業及び子の養育又は家族の介護を行う者の職業安定に関しては定められていない。

【更生保護】問１９　保護観察に関する次の記述のうち、正しいものを２つ選びなさい。

１　保護観察所は、都道府県によって設置される。

２　保護観察は、保護観察官と保護司が協働で行う。

３　指導監督における一般遵守事項は、保護観察対象者全員が守らなければならない。

４　保護観察対象者の種類は、少年と成年の2種類に分かれている。

５　保護観察における補導援護は、少年のみを対象として行われる。

【理論と方法】問２０　ケースワークのアプローチに関する次の記述のうち、正しいものを2つ選びなさい。

１　リッチモンドは、精神保健分野で発達した危機理論をケースワークに導入して、危機介入アプローチを体系化した。

２　診断主義アプローチは、トールやハミルトンによって提唱された。

３　課題中心アプローチは、比較的に長期に渡る計画援助として体系化された。

４　行動変容アプローチは学習理論をケースワークに導入しており、サリービーやラップ、ゴスチャらが提唱している。

５　エンパワメントアプローチは、アメリカにおける公民権運動などが源流となって体系化された。